

2009年度

科目名	中国語 I (コミュニケーション)		
担当教員	井戸 有紀		
配当	薬学1	コード	25030
開期	通年	講時	火曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	中国語の全体像を把握し、発音を中心とする中国語の基礎を習得する		
目的と概要	現代中国語を修得するための基礎を学習します。中国語がどのような言語かをイメージできるようにまずは概説から入り、続いて発音を表す「ピンイン」や音の高低を表す「声調」、「簡体字」と呼ばれる独特の字体を学習します。この授業では、コミュニケーションの土台となる正しい発音を身につけるために、音声面の学習に重点を置いて練習します。また、生活に密着した口語表現を学ぶ中で、使用頻度の高い基本語および初歩的な文法知識を学習します。		
成績評価法	筆記試験70%、発音20%、提出物等10%。前後期とも出席4回で試験の受験資格を失います。(出席状況や平生の授業態度について、最終成績の素点に±10%の範囲で考慮する場合があります。)		
テキスト	『中国語ポイント42』(白水社)		
参考書	辞書を含め適宜指示します。		
履修に当たっての注意・助言	初めて習う言語に対して不安な気持ちがあるかも知れませんが、思い切って中国語の扉を開けてみてください。きっと、新鮮な感動と知的な興奮に満ちたもう一つの世界が待っています。上達のコツは、好きになること、無心に発音をまねること、真面目に覚えること、この三つです。		
講義計画			
1.中国・中国語とは	中国・中国語についての概説と学習アンケート。		
2.発音の基礎	中国語の特徴の一つである声調について・母音・子音の練習とピンイン表記。		
3.発音の基礎	単語の発音練習。簡体字の紹介。簡体字・声調・ピンインをセットで覚える。		
4.第一課	人称代名詞・「是」の文・疑問詞「ma」・名前の言い方		
5. "	"		
6.第二課	動詞の文・指示代名詞・疑問詞疑問文・所有の「的」		
7. "	"		
8.第三課	形容詞・所有の「有」・反復疑問文・副詞「也」「都」		
9. "	"		
10.第四課	場所詞・存在の「在」・動詞の重ね型・省略疑問の「ne」		
11. "	"		
12.中国文化紹介	中国語の映画を、聞き取れる単語を探しながら鑑賞する。		
13. "	"		
14.第一～四課のまとめ	第一～四課の内容について復習する。		
15.発音のチェック	個別に発音をチェックする(単語)		
16.第五課	数の言い方・量詞・語気助詞「ba」		
17. "	"		
18.第六課	存在の「有」・連動文・日付と時刻		
19. "	"		
20.第七課	助動詞「要」「想」・介詞「在」「从」・完了の「了」		
21. "	"		
22. "	"		
23.第八課	「できる」の助動詞・経験の表し方・時間の長さの表し方		
24. "	"		
25. "	"		
26.発音テスト・復習プリント	後期範囲の総復習と個別の発音テスト(文章)		
27.中国文化紹介	既習の文章が聞き取れるかどうか力試し。		
28.発音チェック	個別に発音をチェックする。(文章)		
29.第五～八課のまとめ	後期全範囲についての復習		
30.今後の学習について	今後の学習方法についてのアドバイス・終了アンケート		